



同様に、全国の特別支援学校(聴覚障害)の教育課程を受講者全員で分担して各学校の Web ページで調べた結果を基に、特別支援学校(聴覚障害)の教育課程の課題についても議論した。こちらも 3 人 1 組のグループでブレイクアウトセッションによって各自の見つけた課題を基に話し合い、その議論の結果を受講者全体で共有の Google スプレッドシートに入力してもらい、全員でシェアしながら各グループの話し合いの様子を報告してもらうことができた(図 2)。

こうした授業を通して、これまでの講義形式で知識を伝えるものから、自ら調べ、課題を見つけ、その課題の解決策を考えるといった新学習指導要領に示された学びをオンラインで体験してもらった。

受講生の授業評価では、知識の習得について(図 3)、思考・判断・表現について(図 4)の評価は、概ね肯定的な評価が得られたことから、今回の授業改善の取り組みは良いものであったと考えられた。

3. 知識・理解：教育と教職に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している。



図3 知識・理解の評価

5. 思考・判断・表現：教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応方策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。



図4 思考・判断・表現評価